



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	住民アンケート調査, インタビュー調査 (住民), インタビュー調査 (アイヌ)
Citation	「調査と社会理論」研究報告書, 31
Issue Date	2014-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/54996
Type	other
File Information	AN00075302_31_05.pdf



付 属 資 料

地域住民の日常的な交流の実態と アイヌ文化・アイヌ政策に関する意識調査

これは、伊達市の人たちの日常生活のあり方とアイヌ文化・アイヌ政策に関する意識についてお聞きするアンケート調査です。対象の方は、伊達市にお住まいのみなさまのなかから、くじ引きの方法で選ばせていただきました。

この調査の結果は、科学的・統計的に処理しますので、個人的にご迷惑のかかることはございません。お名前は必要ありません。お気軽にお答えください。

なお、不明な点などがありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

【連絡先】 北海道大学大学院教育学研究院教育社会学研究室
〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目
電話（FAX 兼用）：011-706-3093
e-mail：soe@edu.hokudai.ac.jp

I. はじめに、基本的なことからしてお聞きします。

問1 あなたの性別・年齢・居住地区・生まれた場所を教えてください。

- A. 性別 → 男・女
- B. 年齢 → 満（ ）歳
- C. 居住地区（あてはまる番号1つに○をつけてください）
- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 黄金地区 | 2. 稀府地区 | 3. 東地区 | 4. 中央地区 | 5. 関内地区 |
| 6. 長和地区 | 7. 有珠地区 | 8. 市街地区 | 9. 大滝地区 | |
- D. 生まれた場所（あてはまる番号1つに○をつけてください）
- | | | | | |
|----------|---------------|--------------|-------|----------|
| 1. 現住所 | 2. 現住所以外の伊達市内 | 3. 北海道内の他市町村 | | |
| 4. 東北 | 5. 関東 | 6. 中部 | 7. 近畿 | 8. 中国・四国 |
| 9. 九州・沖縄 | 10. 外国 | | | |

問2 あなたの家が伊達市にお住まいになられたのは、どなたの代からですか。また、それはいつごろですか。それぞれ教えてください。

- (A) どなたの代
- | | | | | |
|---------|--------|----------|-----------|----------|
| 1. 自分の代 | 2. 親の代 | 3. 祖父母の代 | 4. 祖父母より前 | 5. わからない |
|---------|--------|----------|-----------|----------|
- (B) いつごろ
- | | | |
|----------|----------------------|----------|
| 1. 明治より前 | 2. 明治・大正・昭和・平成（ ）年から | 3. わからない |
|----------|----------------------|----------|

問3 あなたご自身が伊達市にお住まいになられたのはいつからですか。

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 生まれてからずっと | 2. 明治・大正・昭和・平成（ ）年から |
|--------------|----------------------|

Ⅱ. 日常生活のあり方についてお聞きします。

問4 伊達市について感じておられることをおたずねします。それぞれについて、あてはまるものを1つ選んで、○をつけてください。

- | | とても
そう思う | ある程度
そう思う | あまり
そう思わない | まったく
そう思わない |
|------------------------------|-------------|--------------|---------------|----------------|
| 1. 住民のまとまりが強い…………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 新しくきた人でもなじみやすい…………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 誰でも自由にものが言える…………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 日常的なつきあいが盛ん…………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 昔からの文化・習慣を大事にする…………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 昔から住んでいる人の意見が強い…………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 新しいものを積極的に取り入れる気風がある…………… | 4 | 3 | 2 | 1 |

問5 あなたは、普段ご近所の人たちと、どのくらい交流を行っていますか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 近所の住民とつきあいはない | 2. 道でさえばあいさつをかわす程度 |
| 3. 会った際に世間話をする | 4. 互いの家をよく行き来する |

問6 あなたは、お住まいの地域で自治会（町内会）の活動や行事に参加なさっていますか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. ある程度参加している |
| 3. あまり参加していない | 4. まったく参加していない |

問7 あなたは普段、アイヌの人たちと交流がありますか。

- | | |
|-----------|--|
| 1. よくある | } ⇒ それは <u>どのような交流</u> ですか。 <u>あてはまるもの全てに○</u> をつけてください。 |
| 2. たまにある | |
| 3. あまりない | |
| 4. ほとんどない | |

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 近所づきあい | 2. 職場での付き合い |
| 3. 趣味の付き合い | 4. 子どもを介した付き合い |
| 5. インターネットを介した付き合い | |
| 6. 学生時代からの付き合い | |
| 7. その他 () | |

問8 あなたは、今後とも伊達市に住みたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んだ上で、その理由を以下の表から、いくつでも選んで記入してください。

- | | | |
|------------------|----------------|-----|
| 1. いまの場所にずっと住みたい | ——→伊達市に住みたい理由 | () |
| 2. 別の場所に移りたい | ——→別の場所に移りたい理由 | () |
| 3. 別の場所に移る予定がある | ——→別の場所に移る理由 | () |
| 4. わからない | | |

〈伊達市に住みたい理由〉

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 生活環境がよいから | 2. 人間関係がよいから |
| 3. 親の面倒を見るため | 4. ここに土地や家があるから |
| 5. 職場や学校が近いから | |
| 6. その他 () | |

〈別の場所に移りたい理由〉

- | | |
|---------------|--------------------|
| 7. 生活環境が悪いから | 8. 人間関係が悪いから |
| 9. 交通の便が悪いから | 10. 別の場所に土地や家があるから |
| 11. よい仕事がないから | 12. 職場や学校が遠いから |
| 13. その他 () | |

〈別の場所に移る理由〉

- | | |
|-------------|-------------|
| 14. 就職するから | 15. 転勤があるから |
| 16. 結婚するから | 17. 進学するから |
| 18. その他 () | |

Ⅲ. アイヌ文化についてお聞きします。

問9 アイヌ民族の伝統文化は、現在どのくらい残っていると思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. かなり残っている | 2. ある程度残っている | 3. あまり残っていない |
| 4. 全然残っていない | 5. わからない | |

A. 内容を知っているものがある 1. はい→ () 2. いいえ

B. 体験・参加したことがある 1. はい→ () 2. いいえ

C. 将来体験・参加したい 1. はい→ () 2. いいえ

- 問 1 1 【問 1 0 の A で「1. はい」を選んだ人にお聞きします。それ以外の人は問 1 2 へ進んでください】そのアイヌ文化は、どこで（誰から）知りましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください

1. 家族や親戚 2. 近所の人 3. 友人 4. 学校の授業や行事
5. アイヌ文化を普及している団体 6. 情報メディア（本・テレビ・ラジオ・インターネットなど）
7. 施設や展示物 8. その他（ ）

1. ある → そのうち特に印象に残っている事柄について教えてください。
2. ない

1. ある → それはどのようなアイヌ文化ですか。具体的に教えてください。
2. ない

問 1 4 あなたはアイヌの歴史や文化の内容が世間一般の人々に正しく知られていると思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 正しく知られていると思う | 2. だいたいは正しく知られていると思う |
| 3. あまり正しく知られていないと思う | 4. 正しく知られていないと思う |
| 5. わからない | |

問 1 5 アイヌ民族の伝統文化を後世に残していく場合、どのように残されるべきだと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. アイヌの人たちが残すべきだと思う | 2. 日本の国として残すべきだと思う |
| 3. 地域ごとに残すべきだと思う | 4. その他 () |

問 1 6 今後、アイヌ民族に関する施策はどうあるべきだと思いますか。あなたの考えに近いものすべてに○をつけてください。

1. アイヌ民族への差別が起こらない人権尊重の社会をつくるべきだと思う
2. アイヌ語・アイヌ文化などを守るべきだと思う
3. アイヌ民族に対して雇用対策を拡充すべきだと思う
4. アイヌ民族に対して教育支援を拡充すべきだと思う
5. アイヌ民族に対する経済的な援助を拡充すべきだと思う
6. アイヌ民族の土地・資源に対して補償を行うべきだと思う
7. アイヌ民族に関する正しい理解を提供すべきだと思う
8. アイヌ民族のみを対象とした特別な政策は行うべきではないと思う
9. その他 ()

IV. 最後に、あなたとご家族のことについてお聞きします。

問 1 7 あなたが最後に卒業（または中退）なさった（または、現在かよっている）学校は、次のどれですか。あてはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。

1. 義務教育（旧制高等小学校をふくむ）
2. 高校（旧制中学校・旧制高等女学校・師範学校をふくむ）
3. 専修学校（専門学校）専門課程
4. 短大・高専（旧制高校をふくむ）
5. 大学（大学院をふくむ）
6. その他（具体的に)

2 もしさしつかえなければ、あなた個人の年間収入（年金等をふくむ）を税込みで教えてください。また、あなたの世帯全体の年間収入は税込みでおおよそのくらいになりますか。家賃収入、地代収入等も含めて教えてください。下の表からあてはまるものを1つ選んでカッコの中に記入してください。

A. あなた個人 () B. 世帯全体 ()

ア. なし	ク. 600 万円～700 万円未満
イ. 100 万円未満	ケ. 700 万円～800 万円未満
ウ. 100 万円～200 万円未満	コ. 800 万円～900 万円未満
エ. 200 万円～300 万円未満	サ. 900 万円～1000 万円未満
オ. 300 万円～400 万円未満	シ. 1000 万円～1500 万円未満
カ. 400 万円～500 万円未満	ス. 1500 万円以上
キ. 500 万円～600 万円未満	

質問はこれで終わりです。ご協力いただき、まことにありがとうございました。

本調査に関してご意見・ご感想などございましたら下の余白にご記入ください

*今後、伊達市にお住まいの方々の現状をさらに詳しく調べたいと考えております。もしよろしければ直接お会いし、お話をうかがえれば幸いと存じます。期間は8月19日から8月23日を予定しております。協力して頂ける方は、お名前、ご住所、電話番号を記入してください。

お名前 ()
 ご住所 (伊達市)
 電話番号 ()

【付属資料2】インタビュー調査票（住民）

生活の歩みとアイヌの人々との関わりについてのインタビュー調査

北海道大学大学院教育学研究院教育社会学研究室

対象者 _____

調査者 _____

I 家族構成とあなたの生活の歩みについて

1. あなたの家族構成についてお聞きます。

結婚について（ア．未婚 イ．既婚 ウ．離別 エ．死別）

続柄	年齢	性別	職業	同居・別居（居住地）
本人		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）

2. あなたのご家族にアイヌの血筋の方はおられますか。

→「いる」とこたえた場合、アイヌ生活実態調査票へ。

3. あなたはどこで生まれましたか。

_____ 都道府県 _____ 市町村 大字 _____

4. 生まれたところと現在住んでいるところ是一緒ですか。引っ越したことがある場合、これまでに住んだ場所をすべて教えて下さい。

	場所（原則市区町村まで）	時期	転居の理由
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

5. あなたは子どものころ、周囲に以下のようなアイヌの伝統文化をする人はいましたか。それはどのようなものでしたか。いつ頃まで続けていましたか。

ア. アイヌ語を日常会話として使用する イ. 入れ墨、耳輪（ニンカリ）をする
 ウ. クマ猟、サケ漁 エ. 囲炉裏を中心とした生活、伝統的な家屋（チセ）に住む
 オ. 宝物（漆器・宝刀など）があり、大事にする
 カ. イナウを捧げる。家にイナウ、ヌササン（イナウを並べた祭壇）がある
 キ. 日常的にアイヌの神々へ祈る（聖地への祈り、先祖供養を含む）
 ク. クマなどの動物送り、器物送りをおこなう
 ケ. トゥスクル（神おろしをする人）にみてもらう

6. あなたが子どものころ、アイヌの方と交流・ふれあいはありましたか。それは誰と、どのような交流でしたか。また、子どもの頃のアイヌの方との関わりについて、印象に残っているエピソードなどありましたら教えてください。

7. あなたが中学校を卒業するころ（15歳の頃）、家族の暮らしぶりはいかがでしたか。

8. あなたの学校歴を教えてください。

	学校	卒業 or 中退	地域
1	幼稚園・保育所	—	
2	小学校（尋常小学校）	卒業・中退	
3	中学校（高等小学校）	卒業・中退	
4	高等学校（旧制中学校）（全日制・定時制） （普通科・専門科）	卒業・中退・在学中	
5	専修学校（高等課程・専門課程）	卒業・中退・在学中	
6	大学（短大・四年制） （ ）学部	卒業・中退・在学中	
7	その他		

9. あなたは進学に際し、利用した奨学金制度はありますか。それはどのようなものでしたか。

10. 学生時代はどのようなことに熱中していましたか。あるいは、どのようなことが楽しかったですか。

11. 逆に、学生時代に苦勞したこと、つらかったことはありますか。ある場合、どのようなことですか。
例) 経済的な面、いじめ など

12. あなたはもっと上の学校へ進学したかったですか。断念した場合、どこまで進学したかったですか。また、進学を断念した理由は何ですか。

13. 卒業後、初めて就いた職業と、その職業を選んだ理由を教えてください。

14. あなたはこれまでにどのような仕事をしてきましたか。すべて教えてください。

	就業形態・職業	時期	地域	就転職の方法・ツテ	就職・転職理由
1					
2					
3					
4					
5					
6					

15. 仕事をする上でのやりがいや、楽しみはどのようなことですか。

16. 逆に、仕事をする上で苦勞したこと、つらかったことはどのようなことですか。

17. (結婚されている場合) 結婚する際に、苦勞したことはありますか。また、それをどのように解決しましたか。
その時、相談した方や、参考にしたことはありますか。

18. あなたは結婚・恋愛において民族性（アイヌであるかどうかなど）を考慮した・されたことはありますか。ある場合、それはどのようなことですか。

II アイヌ文化・アイヌ政策についてお聞きします。

19. （郵送調査の間１０Ｂで「体験・参加した」アイヌ文化があると答えた人の場合）あなたがそのアイヌ文化を体験したきっかけはどんなことですか。また、体験・参加した時にどのような感想を持ちましたか。

20. （郵送調査の間１０Ｃで「将来体験・参加してみたい」アイヌ文化があると答えた人の場合）あなたはなぜそのアイヌ文化を体験・参加してみたいと思っているのですか。理由をお聞かせください。

21. あなたは、現在のアイヌ文化を残すべきだと思いますか。また、失われたアイヌ文化を復活すべきだと思いますか。理由も合わせてお聞かせください。

22. 伊達市は、アイヌ民族やアイヌ文化をどのように扱っていると評価しますか。また、今後どのように扱っていくべきだと思いますか。
- (ア)アイヌと和人の交流の場を設けることについて
 - (イ)アイヌへの教育や生活補助について
 - (ウ)アイヌを観光やまちづくりの柱にすることについて

23. （郵送調査の間１６で答えた今後のアイヌ民族に関する施策について）アイヌ政策に対するあなたのお考えは、いつ頃から、お持ちになるようになったのですか。また、何かきっかけになったことはあるのですか。

24. 最後に、アイヌの方々に対して、ふだんお感じになっていることをご自由にお聞かせください。

調査は以上です。長時間ありがとうございました。

【付属資料3】インタビュー調査票（アイヌ）

アイヌ生活実態調査 インタビュー調査票

北海道大学大学院教育学研究院教育社会学研究室

対象 No. _____

調査者 _____

I アイヌの血筋とアイデンティティについて

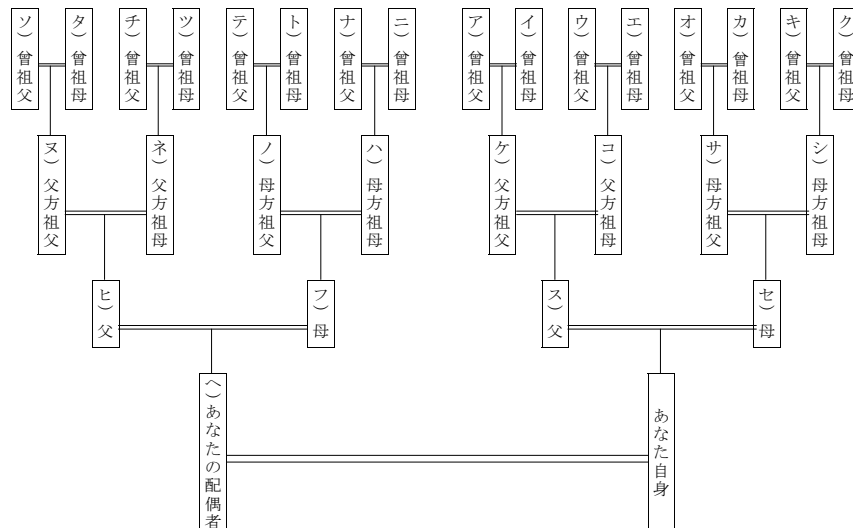
1. あなたの家族構成についてお聞きします。

結婚について（ア. 未婚 イ. 既婚 ウ. 離別 エ. 死別）

続柄	年齢	性別	職業	同居・別居（居住地）
本人		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）
		男・女		同居・別居（ ）

2. あなたのご家族のなかでアイヌの血筋の方はどなたですか。

※アイヌの方には「○」を、アイヌ以外の日本人には「△」を、外国人には「□」を、不明には「?」をつける。



3. あなたは、ご自分をアイヌ民族の一人として意識することはありますか。それはどのような時ですか。

4. (自身の血筋にアイヌの方がおらず、配偶者のみがアイヌの方の場合) あなたは、配偶者の方がアイヌ民族であると感じることがありますか。それはどのような時ですか。

5. アイヌ民族であることに関して、アイヌの血筋を持つ上の世代から告知をされたり、何かを継承されたりしたことはありますか。ある場合、具体的に教えてください。

II これまでの生活史についてお聞きします。

6. あなたはどこで生まれましたか。

都道府県 市町村 大字

7. 生まれたところと現在住んでいるところ是一緒ですか。引っ越したことがある場合、これまでに住んだ場所をすべて教えてください。

	場所(原則市区町村まで)	時期	転居の理由
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

8. あなたは子どものころに、家族の中で、衣食住に関するアイヌ民族の伝統文化(生活様式など)を体験してきましたか。それはどのようなものでしたか。いつ頃まで続いていましたか。

ア. アイヌ語を日常会話として使用する イ. 入れ墨、耳輪(ニンカリ)をする
ウ. クマ猟、サケ漁 エ. 囲炉裏を中心とした生活、伝統的な家屋(チセ)に住む
オ. 宝物(漆器・宝刀など)があり、大事にする
カ. イナウを捧げる。家にイナウ、ヌササン(イナウを並べた祭壇)がある
キ. 日常的にアイヌの神々へ祈る(聖地への祈り、先祖供養を含む)
ク. クマなどの動物送り、器物送りをおこなう
ケ. トウスクル(神おろしをする人)にみてもらう

SQ. また、周囲にこれらの伝統文化をする人はいましたか。

9. あなたが子どもの頃、アイヌの人々との交流・ふれあいはどのようなものでしたか。印象に残っているエピソードや思い出を教えてください。

10. あなたが子どもの頃、アイヌ民族以外の人々とのかかわりはどのようなものでしたか。印象に残っているエピソードや思い出を教えてください。

11. あなたの学校歴を教えてください。

	学校	卒業 or 中退	地域
1	幼稚園・保育所	—	
2	小学校（尋常小学校）	卒業・中退	
3	中学校（高等小学校）	卒業・中退	
4	高等学校（旧制中学校）（全日制・定時制） （普通科・専門科）	卒業・中退・在学中	
5	専修学校（高等課程・専門課程）	卒業・中退・在学中	
6	大学（短大・四年制） （ ）学部	卒業・中退・在学中	
7	その他		

12. あなたは進学に際し、ウタリ対策の援助（高等学校等進学奨励事業、高等学校通学費補助事業、専修学校等進学奨励事業、大学等修学資金等貸付など）を使いましたか。どの学校段階に対してですか。使わなかった場合、それはなぜですか。

SQ. ウタリ対策の援助以外に利用した奨学金制度はありますか。それはどのようなものですか。

13. アイヌ協会伊達支部が運営している「地域学習室」（「会員子供のための学習会」）についておうかがいします。あなたご自身、もしくはご家族は、「地域学習室」を利用したことがありますか。

ア. 利用した（利用している）（質問 14～17 へ）

	続柄	利用期間	利用のきっかけ
1			
2			
3			
4			
5			

イ. 利用していない（質問 18 へ）

14. 【「利用した（利用している）」場合】「地域学習室」では、どのような学習を行っていましたか。
（質問 14～16 は、個別の状況は可能な範囲で聞き、特定が難しければ利用者全体について聞く）

15. 【「利用した（利用している）」場合】「地域学習室」には、どのくらいの頻度に通っていましたか（いますか）。

ア．学習室が開かれるときは、ほとんど通っていた

イ．半分くらい通っていた

ウ．あまり通っていなかった

SQ. その理由について教えてください。

16. 【「利用した（利用している）」場合】「地域学習室」に通うことで、勉強がよりわかるようになりましたか。

ア．わかるようになった

イ．あまり変わらなかった

ウ．その他（ ）

SQ. その理由について教えてください。

17. 【「利用した（利用している）」場合】今後、「地域学習室」はどのようにしていくのがよいと思いますか。

ア．拡充するべき

イ．現状のままでよい

ウ．縮小するべき

SQ. そのようにお考えになる理由について教えてください。

18. 【「利用していない」場合】「地域学習室」の活動はご存知ですか。

ア．知っている

SQ. なぜ「地域学習室」を利用しなかったのですか。

イ．知らない

SQ. 「地域学習室」をお子さんやご家族に利用させたいと思いますか。また、その理由についてもお聞かせください。

19. あなたが中学校を卒業するころ（15歳の頃）、家族の暮らしぶりはいかがでしたか。

20. 学生時代はどのようなことに熱中していましたか。あるいは、どのようなことが楽しかったですか。

21. 逆に、学校時代に苦勞したこと、つらかったことはありますか。ある場合、どのようなことですか。
例) 経済的な面、いじめ など

22. あなたはもっと上の学校へ進学したかったですか。断念した場合、どこまで進学したかったですか。また、進学を断念した理由は何ですか。

23. 卒業後、初めて就いた職業と、その職業を選んだ理由を教えてください。

24. あなたはこれまでにどのような仕事をしてきましたか。すべて教えてください。

	就業形態・職業	時期	地域	就転職の方法・ツテ	就職・転職理由
1					
2					
3					
4					
5					
6					

25. 仕事をする上でのやりがいや、楽しみはどのようなことですか。

26. 逆に、仕事をする上で苦勞したこと、つらかったことはどのようなことですか。

27. あなたご自身の年収は税込みでいくらくらいですか。また、世帯全体の年収はいくらくらいですか。

個人 () 世帯 ()

ア. なし	ク. 600 万円～700 万円未満
イ. 100 万円未満	ケ. 700 万円～800 万円未満
ウ. 100 万円～200 万円未満	コ. 800 万円～900 万円未満
エ. 200 万円～300 万円未満	サ. 900 万円～1000 万円未満
オ. 300 万円～400 万円未満	シ. 1000 万円～1500 万円未満
カ. 400 万円～500 万円未満	ス. 1500 万円以上
キ. 500 万円～600 万円未満	

28. あなたはいつ頃、自身がアイヌ民族の一人であることを自覚しましたか。そのきっかけはどのようなことでしたか。

29. これまでの暮らしの中で、アイヌであることを理由にいじめや差別を受けた経験はありますか。差し支えなければ具体的に教えてください。

30. あなたは結婚・恋愛において民族性（アイヌであること）を考慮した・されたことはありますか。ある場合、それはどのようなことですか。

31. 【子どもがいる場合】お子さんに対して、アイヌ民族であることを伝えていきますか。

ア. はい（S Q 1 へ）

イ. いいえ（S Q 2 へ）

S Q 1 「はい」の場合

お子さんにはどのように、どの程度のことを伝えていきますか。

S Q 2 「いいえ」の場合

今後、お子さんへの告知に関して、どのように考えていきますか。

Ⅲ アイヌの文化と情報についてお聞きします。

32. あなたが普段実践している、あるいは心がけているアイヌ文化（アイヌ民族の生活様式）はありますか。

33. あなたが今後、関わってみたいと考えているアイヌ文化はありますか。それはどのようなものですか。

＜アイヌ文化の例＞

ア. 動物や物の霊送り（イヨマンテなど） イ. カムイノミなど祭事 ウ. 伝統的な婚礼・地鎮祭・新築祝い
エ. 伝統的な葬儀・先祖供養 オ. イナウを捧げる カ. 神聖な場所への祈り
キ. 海・川・山でのタブーや約束事 ク. まじない・トウス（巫術）など ケ. 夢見を大事にする
コ. アイヌ語 サ. ユカラなど口承文芸 シ. 歌と踊り ス. 工芸（編み物・刺繍・織物・木彫）
セ. 伝統的狩猟・漁撈・農耕 ソ. 料理 タ. これら以外のアイヌ文化

34. あなたはラジオでアイヌ語講座が放送されていることを知っていますか。

＊STV ラジオ 毎週日曜 朝 7：00～7：15（再放送 毎週土曜 夜 23：00～23：15）

ア. 知っている イ. 知らない

35. あなたはラジオのアイヌ語講座を一定期間継続して聞いたことがありますか。

ア. 現在聞いている（いつから：

）

（S Q 1 へ）

イ. 以前聞いていた（いつ頃：

）

ウ. 聞いたことはない（S Q 2 へ）

S Q 1. 「現在聞いている」あるいは「以前聞いていた」場合

なぜ聞こうと思ったのですか。

S Q 2. 「聞いたことはない」場合

なぜ聞かないのですか。また、今後聞いてみたいと思いますか。

36. ラジオ講座以外で、アイヌ語を学習したことはありますか。

ア. ある（具体的に：

）

イ. ない

37. あなたはアイヌタイムス（季刊）を知っていますか。

＊アイヌ語だけの新聞（日本語版は3ヵ月遅れで発行）

ア. 知っている（S Q へ）

イ. 知らない

S Q. 「知っている」場合

あなた自身（あなたの家）はアイヌタイムスを購読していますか。

ア. 購読して、読んでいる。

イ. 購読しているが、読んでいない。

ウ. 購読していないが、読んだことはある。

エ. 購読していないし、読んだこともない。

38. あなたは、エフエム二風谷放送（愛称：FMピパウシ）をご存知ですか。

ア. 知っている（S Q へ）

イ. 知らない

S Q. 「知っている」場合

・FMピパウシの存在をどこで知りましたか。

・FMピパウシの放送は、インターネットで聞くことができます。あなたは放送を聞いたことがありますか。

ア. インターネットで聞いたことがある。

イ. インターネットで聞けることは知っているが、聞いたことはない。

ウ. インターネットで聞けることを知らない。

エ. その他（

）

39. 次のうち、あなたがアイヌ関係の情報を最も多く得ているメディアはどれですか。

- ア. テレビ（具体的に： ）
- イ. 新聞 購読している新聞名（ ）
*主に地方欄（伊達版）の記事ですか。（ ）
- ウ. 先駆者の集い（アイヌ協会機関紙）
- エ. アイヌタイムス
- オ. エフエム二風谷放送（愛称：FMピパウシ）
- カ. その他（ ）
- キ. 特にない

40. 新聞やラジオなどマスメディアによるアイヌ民族の取り上げ方について、常日頃感じていることがあればお教えください。

41. アイヌ民族自身による情報発信が必要だと思いますか。それとも思いませんか。理由もお教えください。

Ⅳ あなたやアイヌ民族の将来についてお聞きします。

42. あなたやあなたの家族がアイヌ協会（ウタリ協会）に加入したのはいつですか。また、何がきっかけで加入されたのですか。

【住民調査からインタビューの対象者になった方の場合】アイヌ協会（ウタリ協会）に加入していますか。

→【加入している場合】加入されたのはいつですか。きっかけは何ですか。

→【加入されていない場合】なぜ加入されていないのですか。また、今後加入する気持ちはありますか。

→【加入していたがやめた場合】最初に加されたのは時期ときっかけ、また、やめた理由を教えてください。今後再度加入する気持ちはありますか。

43. あなたは今後、どのように生活していきたいと考えていますか。

- ア. アイヌとして積極的に生きていきたい
- イ. 特に民族は意識せず生活したい
- ウ. 極力アイヌであることを知られずに生活したい
- エ. その他（ ）

44. 43について、それはなぜですか。

45. あなたが「アイヌ民族」について思うことをご自由にお聞かせください。

46. あなたは、国や北海道に対し、どのようなアイヌ政策を望みますか。下記の選択肢を参考にお考えをお教えてください。また、何を優先すべきか、その順番もお聞かせください。

- (ア)学校教育にアイヌ民族のことを積極的に盛り込む
- (イ)アイヌ子弟の大学への進学機会を拡大する（奨学金や優先入学制度など）
- (ウ)アイヌの人々がアイヌ語・アイヌ文化に触れることができる機会を増やす
- (エ)地名をアイヌ語で表記する
- (オ)工芸織物技術が次の世代に受け継がれるように技術の向上、人材育成を図る
- (カ)観光を盛んにして、アイヌ文化が国内・世界に広く知られるようにする
- (キ)働く場所や機会を提供し、自立できるようにする
- (ク)自治体と協力し、アイヌ文化を通じて地域を活性化する
- (ケ)文化を受け継いでいくため、土地を利用し、公有地や川で草木や魚をとれるようにする
- (コ)土地資源をアイヌ民族に返還する
- (サ)アイヌ民族について研究する組織を作り、アイヌ民族出身の研究者を養成する
- (シ)大学等に保管されている遺骨を国が慰霊する施設を作る
- (ス)アイヌ民族と国がアイヌ政策を協議する場を設ける
- (セ)国会や道議会にアイヌ民族特別議席を設ける
- (ソ)その他

47. 伊達市は、アイヌ民族やアイヌ文化をどのように扱っていると評価しますか。また、今後どのように扱っていくべきだと思いますか。

- (ア)アイヌと和人の交流の場を設けることについて
- (イ)アイヌへの教育や生活補助について
- (ウ)アイヌを観光やまちづくりの柱にすることについて

調査は以上です。長時間ありがとうございました。